

山口大学生生活協同組合

- ◆代表者：理事長 山中 明
- ◆理事：常勤役員 専務理事 中井 傑
- ◆設立：1996年12月19日
- ◆組合員：10,543人
- ◆出資金：163,654千円
- ◆供給高：1,202,586千円
- ◆職員数：正規職員数 14名
パートタイマー 数：100名



22年3月にホール改装した第2学生食堂きらら

【22年度の方針基調】

キャンパス街化計画実現に向けて2030までに少しずつ花を咲かせられるように種まきの年度と位置づけます



22年度に掲げた重点課題

【キャンパス全体をフードコート化に向けた計画】

- ・ 寄付を含めた工学部喫茶の改装計画について大学にご提案し、22年度内での宇部キャンパスでの焼き立てパンの販売を目指します。
- ・ 共同開発の新システム導入に合わせて、秋より教職員向けのミールカード（プリペイド型）を開始します。
- ・ 第2学生食堂きららでの14時以降からの軽食サービスを秋からの開始を目指して検討を進めます。
- ・ 長引くコロナ禍で中止をしていた学内での懇親会について、大学と協議を重ねながら、実施を模索し、いつでも開始できるように準備を進めます。

【コミュニティ空間や協働スペースの拡大】

- ・ 第2学生食堂きららのホールを改装し、食事利用だけでなく、様々なワークショップや今後は協働スペースとも活用できるような空間を実現します（3月に実施）
- ・ きららやFAVOのホールを活用した地域と学生の共存空間実現に向けたプランを大学に提案し、実現に向けて検討を重ねます。

【未来創造テーマパークとキャスト計画実現に向けて】

- ・ 学び成長出発プログラムのフェイズ2を開始します。初年度はFAVO-FESTIVALをキャスト（学生）の力で実現し、これから先の定期イベントになるように育てます。
- ・ 23年度卒業生から開始できるように生協独自同窓会組織結成の準備を進めます。
- ・ すべての事業に書籍を絡めます。これまで同様に学びのプログラムに絡めることはもちろんのこと、その他の事業についても検討を開始します。

【可能性が広がるオンライン上のサービスの拡大】

- ・ 20年度から開始した推奨PC買取プランは買換提案初年度を迎えます。充実度につながるようなサービスになるよう準備を進めます。
- ・ 中計画で示したような「LIVEを超えた期待感」を届けられる新生活準備を開始します。それにより、山口に来なくても準備が整う環境を新入生に提供し、利用と満足度も向上させます。
- ・ 秋より開始する新システムを活用した「学生の行動を促す」ポイントサービスを開始します。



22年度掲げた重点課題の振り返り

1. キャンパス全体をフードコート化に向けた計画

- ▶ 常盤キャンパスでの「キャンパス街化構想」について、1年間関係者と議論を重ねてきました。資材の高騰等、予算や工程の関係から22年度内の実現には至りませんでした。引き続き議論を重ねながら、23年度中に焼き立てパンの実施を始め、少しでも喜んでいただけるよう宇部地区のサービス増に向けて取り組んで参ります。
- ▶ 懇親会については、長引くコロナ禍を踏まえ大規模な懇親会は引き続き控えています。ご要望に応じて、イベントでのドリンクサービスや、ワンプレートでの昼食懇談会の実施など、少しずつできることから実施をしてきました。



2. コミュニティ空間や協働スペースの拡大

- ▶ 第2学生食堂きららは3月にホールを改装し、食事利用だけでなく、様々な活用を想定した空間に変えることができました。きららの利用は21年度と比較して150%以上利用も伸長し、講演会等のイベントとしても活用いただけています。
- ▶ FAVO前の劣化した芝生を整備し新しいスポットを創ることで、よりFAVOの空間がお気に入りの場所になるように、学生理事を中心に議論し、オブジェ設置など新しい空間が実現することになりました。
- ▶ 国際総合科学部のPBLによる「もっとFAVOる！キャンパスプロジェクト」にも協力をさせていただき、学生交流の活性化方策に生協としても積極的にコミットしました。



3. 未来創造テーマパークとキャスト計画実現に向けて

- ▶ 学び成長出発プログラムはこれまでの新生活準備サポートセンターでの就業体験に加えて、受講生全員が関わる生協の事業についての「アンケート調査」ならびに広報用の「動画作成」に取り組みました。作成された動画は新入生向けのデジタルパンフなどで活用されています。
- ▶ コロナ禍でこの2年間実施できていなかった「健康の森」を大学保健管理センターと地域生協と学生委員会および生協職員の合同で秋に実施することができました。健康測定を始め、地域生協によるセミナーなど様々な体験や自身の健康について考える企画が行われ、予想を超える多くの学生の利用がありました。

山口大学生協吉田キャンパス

健康の森

取り組みのおすすめポイント
健康について
考える機会になる！

概要
【日時】2022/11/17
【場所】福利厚生施設「FAVO」
【参加者数・申込数など】延べ294名
【内容】
大学保健管理センター・地域生協（コープやまぐち）
生協学生委員会が協力し、身体測定や食生活相談コーナー、
リスクマネジメントセミナーなどを実施した。

当日の様子 **大盛況！**

開始直後はちらほらと人がいる状況だったが、盛みごろから来場者が増え参加者続出ができてきた。最終的には定員の1.5倍の参加人数となった。当日の広報として、タスロー一冊出し着ぐるみによる学内巡回広報、タスローとコープの会場前呼び込みを実施した。来場者の多くは知らないメンバーでの運営だったので不安が大きかったが、持ち時間にはアルコールパブテストを案内するなど臨機応変に対応できた。

想い・こたわりポイント **成果や課題**